

松尾中学校社会学習指導案

授業日：平成 29 年 10 月 26 日（木）

学習者：1 年 A 組（男子 14 名 女子 20 名 計 34 名）

場 所：視聴覚室

授業者：教諭 佐々木 淳子

1 単元名 第 3 章世界の諸地域 1 アジアの多様性と経済発展 「世界の工場」の出現

（教育出版『中学社会地理』）

2 単元の目標

アジア州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、その地域的特色をとらえる適切な主題を設け、その追究を通して地域的特色を理解させる。

また、その追究の過程で、地域的特色に関する様々な資料から有用な情報を適切に選択し、その地域的特色について多面的・多角的に考察させ、その過程や結果を適切に表現させる。

3 単元について

（1）生徒観

中学校に入学して半年が経ち、新たな知識を習得することに喜びを感じながら意欲的に学習する生徒が多い。また、全体の前で積極的に意見を述べたり、発表できる学級の雰囲気も形成されてきている。4 月に実施した N R T（小学校時学習内容）の結果分析より、観点別の「資料活用の技能」では全国比 9 9 となっているが、中領域別では「日本の気候とくらし」が全国比 8 3、「都道府県の名称と位置」が全国比 8 8 と、地理的分野における学習内容の定着率が低いことがうかがえる。このことから、諸資料からの情報を読み取ることが表面的であり、読み取った情報から社会的事象について考察する力が弱いと考えられる。したがって、地図や主題図、視聴覚教材などの諸資料から社会的事象を読み取り、それらを相互に関連づけて思考・判断し、表現する場面を設けた授業展開とする。これを通して、社会科の基本的な学習方法を身につけさせ、学力向上に結びつけることができると考えられる。

（2）教材観

本単元は、学習指導要領地理的分野の内容（1）世界の様々な地域のウ「世界の諸地域」にあたり、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、その追究を通してそれぞれの州の地域的特色を理解させることをねらいとしている。本単元は、大単元「世界の諸地域」のうち、（ア）アジア州を指導内容として構成したものである。

アジア州には、世界人口の約 6 割が住んでおり、気候や文化、生活様式も様々であることから、多様性に富んだ地域であるといえる。近年、アジア諸国の経済的な成長は著しいものがあり、中国躍進の一方でインドや東南アジア諸国などの新興国も急成長している。豊富な労働力と安価な人件費などを背景に、外国企業が進出してきており、工業などの様々な面で大きな発展を遂げ、そのことが人々の暮らしにも変化を生じさせてきている。

その反面、所得格差の拡大や環境問題等のように、成長に伴った課題も見られている。産業の発展に伴って世界の国々の結びつきが強くなる中で、日本とアジア諸国が協力して様々な問題を解決していくことが求められる。

本単元では、アジア州の産業発展と人々の生活のかかわりなどの追究を通して、経済発展による暮らしの変化

や生じた問題点をとらえさせることを目標とする。日本も属するアジア州の変化と諸問題について学ぶことは、社会的事象と課題を自分に直接関わることとしてとらえることで、国際社会に生きる公民としての資質や能力の育成につながると考える。

(3) 指導観

地図や主題図、映像資料などの諸資料を活用してそれらから読み取れる社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察することを通して課題を追究し、社会的な見方や考え方を働かせた学びが展開できるようにする。具体的には、適切な資料提示や発問をしたうえで、複数資料から読み取った事実を比較、関連させて読み取らせ、その背景や要因を思考させて地域的特色をとらえさせる。そのために、根拠を明確にして自分の考えを持ち、主体的に学ぼうとする姿勢を持たせるとともに、他者の考えにふれながら自分の考えを深化させられるようにする。

また本校の研究主題をふまえ、以下のことに重点を置いて指導にあたりたい。

- ①単元の追究テーマを設定して本単元全体の学習の見通しを持たせる。
- ②単元を通して学習課題の設定から振り返りまでの流れを適切に構成する。
- ③本時の学習課題の設定から、予想、検証にいたるまでの課題解決型学習を展開し、その中で見通しを持った学習ができるようにする。
- ④全体での交流を行うことで、学んだ内容を個人の学びの深まりにつなげられるようにするとともに、生徒相互の協働的な学習が展開できるようにする。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
アジア州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に、世界の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	アジア州の地域的特色を、そこに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	アジア州の地域的特色に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、地域的特色について読み取ったり図表などにまとめたりしている。	アジア州について、そこに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身につけている。

5 単元の指導・評価計画

時	学習内容	学習活動	評価規準
1	アジアをながめて	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州の歴史と自然環境を大観し、アジアを構成する主な国々の位置と名称を理解する。 ・諸資料からアジア州の自然環境や世界に占める人口の割合について読み取り、アジア州の特色を明らかにする。 	<p>【知】アジア州の地勢と国々に対する関心を持ち、アジア州の自然環境、歴史や文化の特色を理解している。</p> <p>【思】アジア州の気候や人口に関する資料からその特色をとらえ、表現している。</p>

2	工業化と大都市の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国を例に、工業化による経済発展と都市化の進展について、諸資料から読み取る。 ・韓国の工業化にともなう経済発展や都市化の進展によって生じている問題点とその要因について、諸資料をもとに考察する。 ・単元の追究テーマを設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 単元の追究テーマ アジアの国々はどのように経済発展してきたのか。 </div>	<p>【技】韓国における工業化にともなう経済発展、都市化の進展について、資料から読み取っている。</p> <p>【思】韓国を例に、大都市が成長することによって、どのような問題が引き起こされているのかを考察し、表現している。</p>
3	変わる産業と貿易	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアで工業化が進み貿易に変化が見られることを、資料から読み取り、工業化が進んだ背景や生活の変化について考察する。 ・東南アジアの多様な民族や宗教、産業の特徴とその変化を理解する。 	<p>【思】東南アジアを例に、工業化が進んだ背景や人々の生活の変化について諸資料をもとに考察し、説明している。</p> <p>【知】東南アジアを例に、多様な宗教や民族、産業の特徴とその変化を理解している。</p>
4	多様な農業と、世界とつながる工業	<ul style="list-style-type: none"> ・南アジアを例に、農業・工業の発達した背景やICT産業が近年進展してきた背景について諸資料をもとに考察し、適切に表現する。 ・南アジアを例に、農業・工業の発達やICT産業の進展により経済発展していることを理解する。 	<p>【思】南アジアを例に、農業・工業の発達やICT産業の進展について、その背景や要因を資料をもとに考察し適切に表現している。</p> <p>【知】南アジアを例に、農業・工業の発達やICT産業の進展について理解している。</p>
5	世界を動かす石油資源	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジアの経済が発展した要因について資料からわかることにふれて考察し表現する。 ・石油資源についての資料から、その経済の特色や世界への影響について読み取る。 	<p>【思】西アジアの経済が発展した要因について、考察し表現している。</p> <p>【技】西アジアの石油資源が世界に影響を及ぼしていることや、石油資源に依存した経済の特色が見られることを諸資料から読み取っている。</p>
6	巨大な人口と多様な民族	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の人口分布と民族分布についての資料からその特色を読み取り考察する。 ・中国の自然環境と主要農産物の関連を資料から読み取る。 	<p>【思】中国の人口に関する諸問題について説明している。</p> <p>【技】自然環境に合わせた農業が行われていることを諸資料から読み取っている。</p>
7 本 時	「世界の工場」の出現	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の経済発展と生活の変化のようすについて資料を関連付けて読み取る。 ・中国で経済発展にともなって生じた問題について資料をもとに考察し、表現する。 	<p>【技】中国の経済発展と生活の変化のようすについて資料を関連付けて読み取っている。</p> <p>【思】中国で経済発展にともなって生じた問題について資料をもとに考察し、表現している。</p>

8	単元のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州の学習を振り返る。 ・単元の追究テーマに対する答えを記述してまとめる。 	<p>【思】これまで行ってきた考察をもとにアジアの急速な経済成長がどのようにして進んだのかを自分の言葉で適切に表現している。</p>
<p>単元のまとめ アジアの国々では、豊富な資源や安くて豊富な労働力をいかして外国企業の進出をうながすなどの工夫をし、工業化を進めてきた。その結果、経済発展をとげてきている。</p>			

6 本時の指導

(1) 本時の目標

中国での経済発展にもなって生じた問題について、複数の資料から読み取った事実を関連づけて、思考・判断・表現することができる。

(2) 本時の評価規準

- ①中国の経済発展についての資料から有用な情報を適切に読み取っている。 **【資料活用の技能】**
- ②中国での経済発展にもなって生じた問題について資料から読み取った複数の事実をもとに思考・判断し、表現している。 **【社会的な思考・判断・表現】**

(3) 本時の指導構想

中国の経済発展等に関する複数の資料から読み取った事実を、比較・関連させたりして思考・判断・表現する活動を通して、課題を追究していく学習活動を展開する。具体的には、予想を検証して解決していくという流れで、本時の学習の到達点が見通せるような授業を展開していく。学習課題についてのまとめでは、資料から読み取った事実を活用して、自らの言葉でまとめさせる言語活動を展開する。振り返りでは、本時の学習による自己の変容を感じ取ることができるようにさせる。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	学習内容	留意点・評価
導入 5分	1 単元の追究テーマを確認する。 2 学習課題を設定する。	・中国についての資料から読み取れる事実をもとに経済発展を焦点化し、学習課題につなげる。 (例) 農業がさかんだと思っていたが工業もさかんなようだ 工業化が進んでいる 経済発展してきている	○グラフ資料 (自動車の生産台数) ○映像資料 (世界の工場) ○グラフ資料 (国内総生産の変化) ・生徒の認識と異なると考えられる資料の提示から、学習課題につなげる。
中国では経済発展により、人々の生活がどのように変化してきたか。			
展開 30分	3 学習課題に対する予想を立てる。 4 課題解決の見通しを持つ。 5 経済発展について諸資料からわかることを読み取り検証する。 6 発展にともなって生じた問題について諸資料からわかることを読み取り検証する。	・学習課題に対する予想を立て、予想内容を共有する。 (例) 経済的に豊かになった 豊かになった国民が増えた 等 ・中国の経済発展と生活の変化について諸資料をもとに検証していくことを確認する。 (1) 外国企業が多数進出していることを読み取る。 (2) 人件費が安いことを読み取る。 (3) 経済特区の導入を位置づけていることを読み取る。 (1)~(3)を関連付けてわかることをまとめる。 (個人→全体) 中国は経済特区を設けて外国企業をたくさん受け入れてきた。また安くて豊富な労働力も生かして工業化を進め、経済発展させてきた。 ・資料から読み取った事実を関連づけて、どんな問題が見られるのか考察し、まとめる。 (個人→全体) (例) 経済発展してきているが、大気汚染や農村部と都市部の格差などの問題がみられる。 農村部から都市部に出稼ぎをしている人が増え、その人たちは貧困に苦しんでいる。都市では工業化が進み、大気汚染などの問題が見られる。	・机間指導により個別の記入状況の概要を把握しておく。 ・どうしてそのように考えたかの根拠を示して発表させる。 ◇自ら考え、根拠を示して予想させる。 ○映像資料 (上海) ○グラフ資料 (人件費の比較) ○地図帳 (経済特区の分布) ○映像資料 (経済のあゆみ) ◇資料に示された事象から中国の経済発展が進んできたことを読み取っている。【技】 ◇読み取った資料を関連づけて経済発展してきた背景を思考し表現させる。 ○映像資料 (出稼ぎ労働者) ○資料 (沿海部と内陸部の格差) ○映像資料 (大気汚染) ◇生活の様子から、資料から読み取ったことを関連づけてどんな問題が見られるか考察している。【思】 ・資料から読み取れることをもとに考察させる。

終 末 15 分	7 本時の学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容をふまえて学習課題に対するまとめをキーワードをもとに自分の言葉でプリントに記入する。経済発展による正の面と負の面から記述させる。 	◇学習課題に対するまとめを本時の学習内容を踏まえて記述している。
	中国では経済発展により、生活が豊かになった人もいるが、農村と都市の経済格差、大気汚染の悪化という問題も起きている。		
	8 本時の学習を深化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中国が課題を解決するためにどんなことが必要か小グループで意見を交流する。 ・日本が中国に対して環境技術協力していることを理解する。 	○映像資料（水俣） <ul style="list-style-type: none"> ・両国の結びつきが強く、今後の相互協力も不可欠であることを理解させる。
9 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を通して新たに分かったことや気がついたことを、記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを共有できるようにする。 	
【例】・初めは中国は豊かになったと思っていたが、農村に住む人たちは貧しい生活をしていて、中国全体が豊かになったとは言えないのだということが分かった。 <ul style="list-style-type: none"> ・中国は経済発展している一方で、大気汚染などの問題が生じていたので、豊かになったけどそのような問題が生じているということは問題だと思った。 ・日本は昔、工業化を進めて発展したけど公害問題を起こしたことがあるのは今の中国に似ていると思った。中国に対して環境がよくなるような取り組みや協力をもっとしていくべきだと思った。 ・中国も外国企業を受け入れ急速に工業化を進めて経済発展してきたことが分かった。他のアジア州の国と共通していて、アジア州の国々はやはり発展している国が多いことが分かった。 			

(5) 板書計画

単元の追究テーマ アジアの国々はどのように経済発展してきたのか。

学習課題 中国では経済発展により、人々の生活がどのように変化してきたか。

検証

外国企業の進出 ← 安くて豊富な労働力
 経済特区の設置 ← 沿海部に設置 経済発展のために作った特別な地域

予想

《変化》
 工業化により大気汚染が悪化 農村と都市の経済格差
 出稼ぎ労働者の貧困 等

中国では、経済特区を設置したり、安くて豊富な労働力をいかして外国企業を受け入れ、経済発展させてきた。

まとめ 中国では経済発展により、生活が豊かになった人もいるが、農村と都市の経済格差、大気汚染の悪化という問題も起きている。

(資料提示用)
 黒板左側
 ホワイトボード

本時の流れ

課題確認
 ↓
 予想
 ↓
 検証
 ↓
 まとめ
 ↓
 振り返り

グラフ資料 等

松尾中学校授業改善方策シート

実施年月日	平成29年10月26日(木)	教科など	社会	実施学年	1学年
職名	教諭	氏名	佐々木 淳子		
単元名	第3章 世界の諸地域 1節アジアの多様性と経済発展				
教科書のページ	P46～P47 「中学社会地理(教育出版)」	指導要領解説のページ	P31～P35		
指導要領の内容・項目など	(1)世界の様々な地域 ウ世界の諸地域(ア)アジア				
本時の目標	中国での経済発展にともなって生じた問題について、複数の資料から読み取った事実を関連づけて、思考・判断・表現することができる。				
本時の評価規準	観点	資料活用の技能 社会的な思考・判断・表現	評価規準	中国の経済発展についての資料から有用な情報を読み取っている。 中国での経済発展にともなって生じた問題について、資料から読み取った複数の事実をもとに思考・判断し、表現している。	
授業者の工夫 (意図) (具体的な手立て)	思考力を高めるために、根拠を持って予想したり、複数の資料から読み取った事実を関連づけてわかることを考察する場面を設定する。				
	他者との意見交流の場面を設けて、他者の意見を聞いて多様な考えに触れることで、自己の考えを深められるようにする。				
	学習課題のまとめやわかったこと、読み取れることを自分の言葉で表現できるよう、キーワードや既習事項を板書や提示資料に位置付ける。				